

ふらの未来農業フォーラム ふらの未来農業ゼミナール 参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、申込期限までに市役所農林課まで
お電話またはFAXにてお申込みください。

住 所	〒		
申 込 代 表 者	TEL		
	FAX		
ご 職 業	メー ル アド レ ス		

ゼミ名	と き	と ころ	締切日	参加数
ふらの未来農業フォーラム 「農業で働きたい人を増やすためにすべきこと」 「明日から出来る！農業経営を大きく変える小さな改善」 「農業の働き方改革に向けたお役立ち技術・グッズを紹介」	11/13(水) 13:30～17:00	フラノマルシェ2 タマリーバ	※定員に なり次第 締め切り	人
「ふらの農の集い」(農業関係者による交流会)	17:20～18:50			人
生産現場の改善ゼミ 「富良野地域の気候変動の状況」 「農家自らできるハウス強靱化技術講習会」 「トヨタ方式のカイゼン手法を農業にいかす」	11/14(木) 10:15～12:30			人
雇用環境の改善ゼミ 「多様な人材がいきいき働く職場づくり」 「農業の働き方改革 実践ワークショップ」	11/15(金) 13:30～17:00	富良野市 保健センター		人
農業情勢ゼミ 「メガ協定と北海道農業の未来」	11/18(月) 14:00～16:00			人
品質管理の改善ゼミ 「『HACCP導入セミナー』HACCPに沿った衛生管理とは」	12/ 4(水) 14:00～16:00			人

6次産業化セミナー 「始める前に身に付けたい6次化の基本技術」	10/16(水) 13:30～17:00	富良野地域 人材開発センター	※定員に なり次第 締め切り	人
6次産業化セミナー 「貸切バスでの視察見学」余湖農園	10/30(水) 9:00～17:00			人
6次産業化セミナー 「狙って売るための6次化の応用技術」	11/27(水) 13:30～17:00			人

お申し込み・お問い合わせ

富良野市役所経済部農林課農業振興係
〒076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号

富良野市ホームページ

<http://www.city.furano.hokkaido.jp>

(一財)富良野市農業担い手育成機構ホームページ

<http://www.furano.ne.jp/ninaite/>

TEL 0167-39-2309

FAX 0167-23-2122

E-mail nourin-ka@city.furano.hokkaido.jp

参 加 無 料

詳細は中面

富良野農業 **3**つのカイゼン

生産現場

雇用環境

品質管理

ふらの未来農業
EXPO2019

—— 富良野農業カイゼンプロジェクト ——

農業の働き方改革につながる最新技術・グッズも紹介

今、あなたの農業経営を支えている「働き手」は、5年後いくつになっているでしょうか
富良野が誇る「総合産地としての姿」を維持していくために、今、私たちがすべきことは……

11/13 水 13:30～17:00
フラノマルシェ2 タマリーバ

ふらの未来農業フォーラム

農業の働き方改革



北海学園大学
宮入 隆 教授



阿部梨園マネージャー
佐川 友彦 氏

異常気象への対策と
トヨタ式業務改善の考え方を学ぶ

11/14 木 10:15～12:30
フラノマルシェ2 タマリーバ

ふらの未来農業ゼミナール

生産現場の改善ゼミ

先進事例の講演と社労士による
実践ワークショップ！ 先着30名

11/15 金 13:30～17:00
富良野市保健センター

ふらの未来農業ゼミナール

雇用環境の改善ゼミ

メガ協定が及ぼす
北海道農業への影響とは!?

11/18 月 14:00～16:00
富良野市保健センター

ふらの未来農業ゼミナール

農業情勢ゼミ

義務化されるHACCPの
衛生管理基準とは!?

12/4 水 14:00～16:00
富良野市保健センター

ふらの未来農業ゼミナール

品質管理の改善ゼミ

主催 富良野市 申込・問合せ 富良野市農林課 ☎ 0167-39-2309 協力 JAふらの

ふらの未来農業フォーラム ～農業の働き方改革～

と き 11/13(水) 13:30～17:00 ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

今、あなたの農業経営を支えている「働き手」は、5年後いくつになっているのでしょうか。富良野が誇る「総合産地としての姿」を維持するために、今、私たちがすべきことは…。

「農業で働きたい人を増やすためにすべきこと」

【講師】北海道学園大学 経済学部 地域経済学科教授 宮入 隆 氏

北海道大学大学院修了。農学博士。専門分野は農業経済学。近年は、北海道農業における外国人技能実習生の受入実態と課題について研究。富良野農業の実態にも詳しい。著書に「北海道から農協改革を問う（共著）」（筑波書房）などがある。



「明日から出来る！ 農業経営を大きく変える小さな改善」

【講師】阿部梨園マネージャー／FARMside works 代表 佐川 友彦 氏

東京大学農学部、同農学生命科学研究科修士卒。外資メーカーの研究開発職を経て、2014年より阿部梨園に参画。大小500件の業務改善を実施し、小規模ながらスマート経営と、直売率99%超を達成した。阿部梨園の改善事例300件を公開するクラウドファンディングを実施し、330人から約450万円の支援を集めて話題を呼んだ。その成果はオンラインメディア「阿部梨園の知恵袋」として無料公開されている。それらの経験と実績を基に、個人事業のFARMside worksでは、経営コンサルティングや企業のアドバイザリー、講演活動を行い、農家の経営体質改善を推進している。



「農業の働き方改革につながる最新技術・グッズを紹介」

【おしゃれ農業服／モンクワ】【病害予測機能搭載モニタリングサービス／BOSCHI】
【ドローン（農業散布）／YAMAHA】等を予定

こんな方に
受けて欲しい

- 農作業ヘルパーやパートアルバイトを雇用している
- 雇用環境を改善するにもコストが増えるので改善に踏みきれない
- 時間がない。日々の作業に追われている
- 小さな改善の積み重ねで利益率を上げたい
- 明日からでもできる農家のための時短術を知りたい

ふらの未来農業ゼミナール ～雇用環境の改善ゼミ～

と き 11/15(金) 13:30～17:00 定 員 先着 30名
ところ 富良野市保健センター

農作業ヘルパーを含めた農業従事者の定着化、リピーター化を図るため、国内有数の先進事例と、農林水産省制作の「農業の働き方改革経営者向けガイド実践ワークブック」を使ったワークにより、農業における労務管理について学ぶ。

「多様な人材が いきいき働く職場づくり」

【講師】㈱ベジアーツ代表 山本 裕之 氏

「仕事」を通して「人」の幸せを実現すること」を企業理念に掲げ、正社員10名、パート社員16名、外国人技能実習生8名とともにレタス等の葉物野菜を生産する。多様な人材がいきいきと働く職場づくりを実践し、社員の平均年齢は29歳と若い。2018年には第4回農業の「働き方改革」検討会にて、農業事業者3名の内の1名として選出されている。栽培面積：30ha／栽培品目：レタス、サニーレタス、グリーンソニー等。



「農業の働き方改革 実践ワークショップ」

【講師】ひかる社会保険労務士事務所代表 木村 光 氏

建設業界から転身し、平成21年ひかる社会保険労務士事務所を開業。皆様の職場が、経営者にとっても働く人にとってもより良い環境であることを願い、企業の良き相談相手となり、「笑顔あふれる職場環境づくり」をサポートしている。



こんな方に
受けて欲しい

- 農作業ヘルパーやパートアルバイトを雇用している
- 社員やパートが集まらない採用してもすぐに辞めてしまう
- 魅力的な農場をつくりたい

ふらの農の集い

と き 11/13(水) 17:20～18:50
ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

講演
「富良野農業、その魅力と可能性」



【講師】
北海道銀行アグリビジネス推進室
産業戦略部長
元北海道農政部長
小野塚 修一 氏
(過去ふらの農協に外向経験有)

農業関係者による交流会

参加料 1,000円(軽飲食)
主 催 北海道銀行

● 女性農業者歓迎 ● ヘルパー等を雇用する農業者必聴 ●

参加無料

富良野農業 3つのカイゼン

生産現場 雇用環境 品質管理

ふらの未来農業 EXPO2019

富良野農業カイゼンプロジェクト

ふらの未来農業ゼミナール ～農業情勢ゼミ～

と き 11/18(月) 14:00～16:00 ところ 富良野市保健センター

TPPや日米貿易協定等「メガ協定」による北海道農業への影響について学ぶ。

「メガ協定と北海道農業の未来」

【講師】北海道大学客員教授(北海道たねの会代表) 久田 徳二 氏

1985年北海道新聞社入社。旭川報道部を振り出しに記者活動。1996年に政治報道で取材班として日本新聞協会賞、JCJ奨励賞、北海道新聞社長賞を受賞。本社政治部・東京政治経済部記者、本社報道本部編集委員として、農水省や道庁、政党、道内各地の政治経済、一次産業、環境などを担当。2017年定年退職。2014年から北海道大学客員教授、2018年から北星学園大学等で非常勤講師。著書に「北海道の守り方～グローバリゼーションという<経済戦争>に抗する10の戦略～」[種子法廃止と北海道の食と農]など多数。



- TPPなど「メガ協定」が、私たちの暮らしにどう影響するのか知りたい
- 種子法廃止が私たちの暮らしにどう影響するのか知りたい

※協力：食とみどり・水を守る富良野労農市民会議

6次産業化 セミナー

主 催
富良野広域圏
通年雇用促進協議会

「貸切バスでの視察見学」余湖農園 (恵庭市)

と き 10/30(水) 9:00 文化会館集合
17:00 文化会館帰着

余湖農園は、無農薬・減農薬で育てる特別栽培で野菜を生産しており、またJGAP認証を早くから取得している農場です。6次産業化にもいち早く着手し、トマトジュースやスープなどの加工販売の他、野菜の収穫体験、農産加工体験を実施できる体制を整備しています。

【講師】(株)余湖農園 代表取締役 余湖 智 氏



こんな方に
受けて欲しい

- 近年多発する災害のリスクを軽減したい
- コスト削減が限界にきている
- 時間がない
日々の作業に追われている
- 小さな改善の積み重ねで
利益率を上げたい

● 女性農業者歓迎 ● ヘルパー等を雇用する農業者必聴 ●

ふらの未来農業 EXPO2019

富良野農業カイゼンプロジェクト

ふらの未来農業ゼミナール ～農業情勢ゼミ～

と き 11/18(月) 14:00～16:00 ところ 富良野市保健センター

TPPや日米貿易協定等「メガ協定」による北海道農業への影響について学ぶ。

「メガ協定と北海道農業の未来」

【講師】北海道大学客員教授(北海道たねの会代表) 久田 徳二 氏

1985年北海道新聞社入社。旭川報道部を振り出しに記者活動。1996年に政治報道で取材班として日本新聞協会賞、JCJ奨励賞、北海道新聞社長賞を受賞。本社政治部・東京政治経済部記者、本社報道本部編集委員として、農水省や道庁、政党、道内各地の政治経済、一次産業、環境などを担当。2017年定年退職。2014年から北海道大学客員教授、2018年から北星学園大学等で非常勤講師。著書に「北海道の守り方～グローバリゼーションという<経済戦争>に抗する10の戦略～」[種子法廃止と北海道の食と農]など多数。

- TPPなど「メガ協定」が、私たちの暮らしにどう影響するのか知りたい
- 種子法廃止が私たちの暮らしにどう影響するのか知りたい

※協力：食とみどり・水を守る富良野労農市民会議

「貸切バスでの視察見学」余湖農園 (恵庭市)

と き 10/30(水) 9:00 文化会館集合
17:00 文化会館帰着

余湖農園は、無農薬・減農薬で育てる特別栽培で野菜を生産しており、またJGAP認証を早くから取得している農場です。6次産業化にもいち早く着手し、トマトジュースやスープなどの加工販売の他、野菜の収穫体験、農産加工体験を実施できる体制を整備しています。

【講師】(株)余湖農園 代表取締役 余湖 智 氏

ふらの未来農業ゼミナール ～生産現場の改善ゼミ～

と き 11/14(木) 10:15～12:30 ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

「上川地方の気候変動の状況」

地域の気候変動の状況を知り、災害のリスクマネジメント等の対策につなげる。



「農家自らできる！ ハウス強靱化技術講習会」

災害のリスクを軽減させるため、ハウス強靱化技術について学ぶ。

【講師】㈱大学農園ふらの営業所 長部 昭彦 氏

ハウス強靱化に向けた各種資材の情報や、スマート農業技術の動向に注目している。



「トヨタ方式のカイゼン手法を農業にいかす」

省力化を図るため、トヨタ方式の業務改善の考え方、手法について学ぶ。

【講師】トヨタ自動車㈱アグリバイオ事業部農業支援室 松下 響 氏

名古屋大学大学院工学研究科生物機能工学専攻博士前期課程修了後、化粧品会社を経て2004年トヨタ自動車入社。環境にやさしい生分解性プラスチックの製造技術開発及び食料と競合しないセルロースエタノール製造技術開発・事業化等の取り組みを経て、本年5月より農業支援の取り組みを開始。



ふらの未来農業ゼミナール ～品質管理の改善ゼミ～

と き 12/4(水) 14:00～16:00
ところ 富良野市保健センター 主 催 旭川産業創造プラザ

食品衛生法改正により、加工・調理・販売を行う事業者はHACCPに沿った衛生管理の実施が義務付けられたことに伴い、HACCPの衛生管理について学ぶ。

「HACCP導入セミナー」

HACCPに沿った衛生管理とは

【講師】旭川食品産業支援センター長 浅野 行蔵 氏

京都大学農学部卒。協和発酵工業株式会社入社。北海道立食品加工研究センターを経て、北海道大学大学院農学研究院特任教授。2016年から現職。その他、北海道食品協議会技術顧問等。



こんな方に
受けて欲しい

- 義務化されるHACCPの衛生管理について知りたい
- 加工品の品質をより向上させたい



【講師】㈱リテイル・エンジニアリング・アソシエイツ
食料事業部長
鈴木 俊介 氏

前職の伊藤忠商事(株)では、ドールブランド等の外国産生鮮青果物の輸入事業や国産青果物の産地開発と国内外への販売事業などに従事。現職では、地元生産者と消費者が交流しながら食生活を楽しむ新しい消費スタイルを提案するブログ「100マイル地元食」を執筆。平成30年から、北海道6次産業化サポートセンターの企画推進員に就任し、北海道内で6次産業化を目指す農林漁業者をサポートしている。

「始める前に身に付けたい6次化の基本技術」

と き 10/16(水) 13:30～17:00 内 容 ● 経営理念から組み立てる6次化の目的設定
● 誰に食べてほしいから考えるマーケティング
● HACCP対応を前提とした食品加工
ところ 富良野地域人材開発センター

「狙って売るための6次化の応用技術」

と き 11/27(水) 13:30～17:00 内 容 ● 夢を追いつけるための事業計画作成
● 限られた労働力で効果的に売る販売戦略
● 自分と商品の価値を伝える営業力
ところ 富良野地域人材開発センター